



*** 和歌山県内看護師等のキャリアアップ***

県内の主要医療機関の教育担当者ネットワーク体制の構築

橋本医療圏における主要医療機関の教育担当者ネットワーク体制構築するため、主要5施設を対象に、地域で活躍できる教育担当者の養成を目標に取り組んできました。5施設の教育担当者が「人材育成」に焦点を当てた自施設向けの研修を企画、実施し、Web会議で共有しました。当センターでは、研修企画内容や評価に関して、参加者個別の疑問点を解消するため、施設別のWeb会議も開催し、対応しました。3月中には各施設の成果発表をおこなう予定です。今後は、他医療圏への拡大を目標にしており、新型コロナウイルスのまん延状況により可能な範囲で他の医療圏も同様にネットワーク構築に向けて支援をおこなう予定です。

県内の看護職にキャリアに応じて選択できる研修機会を提供

附属病院看護部ならびに専門・認定看護師会の協力を得て、専門・認定看護師が企画・運営している学習会を県内の医療機関や訪問看護ステーションに向け、提供しました。当センターは広報と動画配信、アンケート集計を担当しました。受講希望者数は多く、県内で地域医療に携わる看護師に対して、ニーズや関心の高い研修テーマであったと考えられます。今後、新型コロナウイルスのまん延が解消されれば、動画配信と受け入れ研修での対面講習の組み合わせなど、より学習効果の向上を目指した企画も検討していく予定です。

テーマ	院外	院内
HFNC 使用中の看護	60名	60名
認知症高齢者の糖尿病看護	54名	46名
がん薬物療法看護のいろは	76名	55名
改訂 DESIGN-R2020 を学ぼう	93名	130名



キャリア支援座談会の開催

附属病院、紀北分院および保健看護学部学生を対象に、自身のキャリアを考えるきっかけ作りを目的とした、キャリア支援座談会を3回開催しました。参加者のアンケート結果から、いずれの企画も満足度が高く、キャリアの参考にできる内容であったという意見を得ることができました。2月に4回目を企画していましたが、新型コロナウイルスまん延のため延期しています。

潜在看護師の復職支援プログラムの提供

新型コロナまん延のため従来通りの開催が難しく、WEBでのコンテンツ配信をおこないました。今年度は3名のお申込みがありました。

テーマ	参加人数
その経験どうでしたか？～師長・副師長としてキャリアについて考える～	附属病院 35名、紀北分院 13名 (会場 27名、Web10名)
悩める看護師の視野を広げる学び・働き方について聞く	附属病院 24名、紀北分院 2名 (会場 16名、Web10名)
認定看護師になるには	附属病院 10名、学生 2名 (会場 10名、Web2名)

*** 特定行為研修に係る看護師の研修制度の運営 ***

令和3年度は5期生の区分別研修と6期生の共通科目実習を実施しました。新型コロナウイルス感染症まん延の影響を受け、実習期間の延長等はありませんでしたが、今年度は4期生3名、5期生6名が無事修了しました。

フォローアップ研修 栄養に係るカテーテル管理区分 (PICCの挿入) の区分において、修了者の技術の確認や維持を目的に、講義の聴講とシミュレーターを用いてトレーニングをおこないました。



5期生修了式



PICCの挿入



特定行為研修指導者講習会の開催

厚労省の委託を受け、今年度もオンラインで指導者講習会を開催しました。全国各地から医師10名、看護師38名、計48名のご参加があり、本学特定行為研修実務委員の方々にグループワークのファシリテーターとしてご協力いただきました。活発な意見交換ができ、参加者からは高評価を得ることができました。



オンライン・オープンキャンパスの開催

特定行為研修の受講を検討している看護師や管理者向けに、オープンキャンパスをオンラインで開催しました。県内外の病院や訪問看護ステーション、介護老人保健施設から24名のご参加がありました。参加者の中から7期生として応募し、受講が決定した方もいます。さらに、7期生には附属病院と紀北分院からも1名ずつ受講されることになりました♡

特定行為研修の指定研修機関の連携強化

昨年度に引き続き、和歌山県医務課主催の「特定行為研修機関意見交換会」に参加し、日赤、ろうさい病院と研修の現状に関する情報共有と、協力体制の構築に関して意見交換しました。

実習協力施設の拡大

5期生の実習に伴い、協力施設の申請をおこないました。現在の協力施設は20施設ありますが、今後は6期生の区分別研修実習に向け、協力施設の依頼と変更申請を実施していきます。